

ほらほら 幌北

幌北まちづくりセンターだより

NO.41

2017年12月発行
幌北まちづくりセンター
北区北17条西5丁目1-7
TEL: 726-6345
FAX: 726-2765

<http://www.city.sapporo.jp/kitaku/machi/center/horokita/index.html>

乳幼児の救命救急法講習会

9月8日(金曜日)午前10時30分から幌北児童会館で「乳幼児の救命救急法講習会」が行われました。これは幌北地区福祉のまち推進センター運営委員会が日本赤十字社奉仕団北海道支部の講師を迎え、毎年開催しています。今年も7名の保護者などが参加しました。1次救命処置として、心肺蘇生・AEDの使い方など、心臓や呼吸が停止した傷病児を救命するために実施する緊急処置や、のどに異物がつまった時の対処法などいざという時に役立つ実技を交えて講習が行われました。参加者の皆さんは、積極的に質問をしながら熱心に取り組んでいました。



種から育てるプランターコンテスト表彰式



9月9日(土曜日)午後1時30分から札幌サンプラザで「種から育てるプランターコンテスト」の表彰式が行われました。



これは配布された種をプランターに植え、どれだけ素敵に花を咲かせることができるかを競うコンテストで、毎年、スローライフ・イン・に～よん実行委員会が主催し、北連合町内会と幌北連合町内会が参加しています。今年の課題栽培はミニひまわりで、天候に悩まされながらも幌北連合町内会からは7名が優秀賞を受賞しました。受賞者の皆さんは、それぞれ育てた花の写真付きの賞状を手に笑顔で記念撮影をしました。



幌北ふれあい交流会

9月14日（木曜日）に札幌サンプラザ（北区北24条西5丁目）で、「第27回幌北ふれあい交流会」が開催されました。これは、幌北地区社会福祉協議会（梶浦茂男（かじうらしげお）会長）主催によるもので、幌北地区にお住まいの75歳以上の方をお招きし、長寿・健康をお祝いする敬老行事で約180名が参加しました。来賓紹介の後、幌北小学校3年生児童による合唱やダンス、リコーダーの演奏などで会場を盛り上げました。

幌北福まち運営委員会によるスライド上映では、通年の地域福祉活動などの様子が紹介されました。また、ステージでは、幌北地区で活動している老人クラブ（幌北ぼぷら会）の合唱や体操、町内会の方々の歌声や舞踊が披露され、参加者の皆さんは食事をしながら演目を観覧し、楽しく交流を深めました。



幌北子どもと地域のつどい



10月1日（日曜日）午前9時30分から幌北小学校で第27回「幌北子どもと地域のつどい」が行われました。これは幌北連合町内会が主催し、幅広い世代のふれあいを通して子どもたちの健全育成、幌北地区への一層の愛着を育む目的で開催されました。秋晴れの中、地域に住んでいる子どもから大人までの約200名の方が参加し、「学生と地域で考えるまちづくり会」（通称：ネオロス幌北）やアカシア若者活動センターから大学生が多数ボランティアス

タッフとして活躍しました。午前はグラウンドで球入れやパン食い競争など7種目の競技を行い、参加者は元気いっぱい体を動かしました。昼食は幌北連合町内会女性部手作りの特製「豚汁」で腹ごしらえをしました。午後からは体育館で竹とんぼ飛ばしや凧、プラバン（プラスチック板に絵を描いてオーブントースターで加工するアクセサリ）の作り方を地域の方に教わり、それぞれお気に入りの作品を完成させていました。

世代間の交流が広がり、地域の皆さんの笑顔があふれた一日となりました。



赤い羽根共同募金運動

今年も10月1日（日曜日）から全国一斉に赤い羽根共同募金運動がはじまりました。

幌北地区では、1日から5日（木曜日）までの5日間に民生委員・児童委員協議会や老人クラブのぼぶら会、不老会の皆さんが地下鉄北18条駅の前で募金活動を行い、協力を呼び掛けました。

集まった募金は、誰もが安心して暮らせるまちづくりのため、地域内で役立てられるほか、地震や豪雨等による大規模震災時においては、都道府県を超えても役立てられます。



小田島北区共同募金委員会幌北分会長は、

「自分の地域を良くする仕組みである共同募金運動へのご理解ご協力をお願いします」と話していました。



幌北ウォーキング大会

10月19日（木曜日）午前9時30分から、北海道大学構内で「幌北ウォーキング大会」が開催され、幌北小児童や地域の方々、学生、就労移行支援事業所の方など約130名が参加しました。

今年で8回目となるこの行事は、地域の方々との交流や健康づくりを目的とし、幌北小学校5年生が中心となり、幌北連合町内会や「学生と地域で考えるまちづくり会」通称 NeoLos（ネオロス）幌北と協力して準備を進めてきたものです。児童は「広報」、「庶務」、「運営」、「研究」の4つの係で計画を立てました。事前にお知らせチラシを地下鉄駅前で配布したほか、北大に関するクイズや



ウォーキングの効果などを載せたしおりの作成、受付、開会式の司会を担当しました。参加者はラジオ体操のあと、11のグループに分かれて1時間半ほどウォーキングを楽しみました。秋晴れのもと、紅葉を眺めながら世代を超えた交流を深めていました。

トピック1

ご存知ですか？ SNSによる情報発信

幌北地区では以下の単位町内会でフェイスブックによる情報発信を行っています。

- 幌北第1町内会
- 幌北第2町内会
- 幌北第11町内会

また、地域と学生で考えるまちづくり会（ネオロス幌北）でもフェイスブックをしています。

町内会の情報が手軽にわかりますので是非フォローして「いいね！」を送ってください。



トピック2

冬も楽しい行事に参加しませんか？

① 2月11日（日）冬のつどい（幌北小学校）

地域ぐるみの雪中運動会です。温かい飲み物も出ます（無料）。

夕方にはアイスクンドルの点灯もあります。

② 2月18日（日）歩くスキーのつどい（モエレ沼公園・モエレ天然温泉たまゆらの杜）

大自然の中で心地よい汗とふれあいを！

スキー等はモエレ沼公園で貸し出します。

初心者でも気軽に楽しめます。

昼食は温泉でゆっくりといただけます。

参加料 大人 2,500円 子人 500円

詳細・・・幌北まちづくりセンターまで

『まちづくりと福まちの推進』

～連町と地区社協は車の両輪・一体の推進～



「幌北地区まちづくりセンター」や「幌北地区福祉のまち推進センター」の「まち」が、なぜ街でも町でもなく「かな標記」なのでしょう。

「まちづくり」とは、新しい「まち」を作るのではなく、現状の「まち」を評価、改善・工夫して「住みよい暮らしを創出する活動」であり、活力を増進する活動と理解するのが賢明だと思います。しかも、その継続・維持が大切だという意見もあります。



また、「福まち活動」は、地域で支え合う環境を整える取り組みです。そこに住む人々が相互に行き交い、楽しく、元気のある「まち」を目指す活動です。

幌北連合町内会の「まちづくり」は、地域に幅広く係り、環境衛生、交通、防犯、防災、厚生、青少年、学生などの部を持ち、各11町内会と繋がっております。

幌北連合町内会は、「幌北ロマン」と称する催事の構想を持っています。それは、春の「花いっぱい運動」、

夏の「ふるさと夏祭り」、秋と冬は「地域と子供のつどい」等を開催しています。また、他団体との連携では「ふれあい交流会」、「高校生との合同清掃会」、「子どもクリスマス」、小学生と大学生の企画による「ウォーキング大会」、「ミニミニ雪まつり」等も実施され、多彩な交流が行われています。

「人々の出会い、つながりを大切に」の想いを重ね地域の魅力、愛着を培ってきています。

さて、福まち活動は、町内会活動が目的とする「住みよい暮らし」に対して、視点を変えて「安心を培う」活動にほかなりません。それぞれの活動は相互理解と協力で効を奏します。

幌北地区では「福まち」と「町内会」の両者は、車の両輪とか、一体だともいわれています。

「地域福祉」と「地域振興」という、両者の立場を深く掘り下げ、連携協力が地域の為になるという共通理解のもとに、これからも活動を続けて行きたいと思います。



在宅医療とは！

～平成29年度幌北地区福まち研修会～

7月13日、幌北会館において「いつまでも地域で暮らす仕組み」「認知症の予防について」の二つのテーマで、福まちの研修会がありました。

梶浦会長の開会の挨拶に続き、医療法人北昂会理事長でファミリー内科名取孝先生から、「在宅療養とは？～事例を交えて」と題してのお話がありました。

家族からの要請により訪問する“往診”と毎月1、2回定期的に訪問する“在宅療養”とは根本的な違いがあり、前者は命を救うことが至上命令であり、後者は自然な終末を迎えるための過不足のない医療介護をする使命を持っている。

本人の意志がしっかりしているうちに《自宅で死にたい、延命治療は断る、但し苦痛を和らげるための緩和治療は行う》などを家族と十分に話し合っておくことが大切ですと話されました。

また、医師、看護師、介護士の体制とともに、本人を介護できる家族が一人以上いることも大事な条件でした。都市では核家族化が進み介護できる家族がいなくなる可能性も高く、在宅療養ができる期間やその後の療養生活について考える必要があることがわかりました。



ともあれ、少しでも長く住み慣れた地域で過ごしたい願いに応える仕組みがあることは有り難いことであり、有効に活用させていただきたいものです。

続いて、北区第一地域包括支援センターの田中愛弓さんから「認知症予防について」のお話があり、「適度の運動」、「人とのコミュニケーション」、「バランスよい食事」、「趣味など知的な刺激」など日常の生活を見直す機会になりました。

「認知症予防の実践」は、北区介護予防センター新道南の生出典子さんの指導で、脳トレ運動をしました。みなさん上手に手足を動かすことができず、笑いの中で楽しい時間を過ごしました。

最後に北区の保健師酒井彩さん、原田ももかさんから「健診結果からみる幌北地区の傾向」、「住民集団健康診査のお知らせ」があり研修会を終了しました。



地域の災害対策…その3

～どんなときでも身をまもる～

今年も国内では7月5～6日「九州北部豪雨」という大きな災害に見舞われ、多くの死者・行方不明者が出ました。「地球温暖化」「異常気象」「想定外」、昨今は様々な言葉で語っては来ていますが、今回も「線状降水帯」による「集中豪雨」で「未曾有」の「洪水・土砂災害」になってしまいました。



これからの季節、北海道も台風や竜巻・突風に気を付けなければなりません。以前は北海道が見舞われることのなかった災害も昨年の台風のように、このところ襲来しています。私たちは自分の身は自分で守らなければなりません。それは季節や時期を問わず、様々な事象、災害に対してです。

夏から秋にかけて、北海道にも台風が襲来するようになってきました。「洪水や土砂崩れ」「突風や竜巻」にも気を付けなければなりません。また、これらに伴う「停電」など、日常生活を脅かすことにも備えなければなりません。避難するにしても、自宅待機するにしても非常用の飲・食料や簡易トイレ、懐中電灯、携帯ラジオ、電池と、最小限必要なものは用意しておく必要があります。停電になると電気で動くものは使えません。集合住宅の場合などは水道水が各世帯に送ることができなくなる可能性があります。これに加えて、乳幼児や病気の方、高齢者の方など、生活状況に合わせた飲・食料や薬など、家族構成に合わせたものにも配慮が必要です。

冬はどうでしょうか？北海道は積雪寒冷地です。吹雪はもとより、強風による地吹雪、ここ最近ではこれによる大停電もありました。そして地震は冬にも起きることが想定されます。夏から秋の避難・待機準備に加えて、暖かくするカイロや毛布などのほか、防寒着等寒さ対策が必要です。最近は電気がなければ、暖房機も動かなくなります。



季節による災害対策はもとより、心だんからの助け合える環境づくり、心もちがとてまたいせつなこととなります。加えて、食料等は避難用の特別なものではなくても、保存がきくものや冷水でももどせるものなど、日常生活で使えるものを利用できることを念頭に、寒さ対策でしたら、新聞紙や段ボールなどの他、キャンプなどアウトドアで使用するもの



も使えます。携帯コンロなどはその代表例です。身近にあるものを日常的に意識して、地域みんなで困難を乗り越えることがとても重要なことであると思います。

福祉除雪事業 新規協力員さん募集中

～幌北地区福祉のまち推進センター～

札幌市と札幌市社会福祉協議会では、毎年12月から「福祉除雪事業」を行っています。

この福祉除雪事業は、70歳以上の高齢の方や障がいのある方など、積雪により冬季間の生活に不自由されている世帯に対して、地域の協力員さんが助け合い活動の一環として除雪作業を行う仕組みです。

除雪作業に加えて利用世帯の安否確認も兼ねており、地域住民がお互いに助け合う優しい街づくりの一つとして、雪国ならではの温かな取り組みです。今年も12月からの「福祉除雪事業」の実施に向けて、新たに除雪活動に協力していただける「地域協力員」さんを募集します。

高齢者の方々が、住み慣れた地域で、くらし続けるために応援してください。

活動内容

- ①除雪範囲…間口(道路への出入り口部分)を概ね1.5m、敷地内(玄関先までの通路部分)を歩行に支障のない80cm程度の除雪をしていただきます。
- ②除雪日時…札幌市の道路除雪が行われた日の12時ころまでに実施していただきます。
- ③除雪期間…平成29年12月1日(金)～平成30年3月25日(日)

申込方法

ご協力いただける方は、北区社会福祉協議会に登録していただきます。

登録後、福祉除雪事業の申込者と地域協力員さんの組み合わせ(住所が近い方を調整)を行い、その結果について、本会からご連絡いたします。

※ 利用世帯の申し込み状況によっては、活動がない場合もありますのでご了承ください。

※ 登録・お申し込みなどの詳細は

北区社会福祉協議会へ

電話 757-2482

まきりん



募集内容

年齢・性別を問いません。一つの世帯をご家族、お仲間など複数の方で除雪いただくことも可能です。





北辰中區だより

北辰中学校区
青少年健全育成推進会
北辰中学校内
北区北18条西2丁目
電話 716-6151

ますます求められる小・中連携

中学校に進学した子どもたちが度々小学校に立ち寄り、中学校での様子を報告してくれることがあります。外見も中身も会うたび大人っぽくなり、その変化に驚くばかりです。

昨今、中学校へ入学する際、新しい環境になじめず、学習や生活に支障をきたすケースが増えてきており、「中1ギャップ」とも言われています。各都道府県では、早急に対応策を求められていることもご存知の通りです。「中1ギャップ」を少しでも減らすには、小学校から中学校への環境の変化に適應できるよう子どもたち同士のみならず、教員間でも交流を図り、互いの実態を具体的に把握することが必要不可欠です。

このような中、北辰中学校と幌北小、白楊小、北九条小の4校では、日頃より連携を密にし、子どもたちが期待感いっぱいに進学し、活躍できるように様々な取組をしています。

◆「北辰祭」3校学校合同見学会(9/23に実施)

幌北小、白楊小、北九条小の3校の6年生の児童が北辰中学校に行き、北辰祭の様子を見学してきました。教室展示だけでなく、プラスバンド部の演奏や劇などのステージ発表も観覧しました。中学校生活への期待と進学への実感をもつことができました。



◆北辰中学校区バスケットボール大会(来年2月中旬以降に予定)

例年、3校の6年生が北辰中の体育館に集まり、バスケットボールの試合を通して交流を深めます。北辰中のバスケットボール部員の皆さんにも協力していただきながら開催され、3校の6年生が北辰中入学前に顔を合わせる貴重な場ともなっています。



◆中学3年生による小学校訪問(来年3月に予定)

中学3年生がそれぞれの母校の小学校を訪問し、6年生に向けて中学校の生活や学習、部活動の様子などを紹介してくれます。小学生に分かりやすく興味深い説明をしてくれるので、中学校への期待が高まり、不安も和らぐようです。昨年度は、中学生の美しい歌声を聴かせてくれました。



このようなさまざまな交流を通して、少しずつ中学生へのステップを踏んでいく子どもたち。取組を支えていただいている児童・生徒の皆さん、先生方、保護者の皆様に感謝をしつつ、今後も小・中学校の連携をさらに深めていければと考えております。

もうすぐ冬休みです。

ご家庭でも、お子さんと 話し合ってみましょう！



雪道のこと



いよいよ冬将軍の到来。夕方から夜にかけて冷え込む日には、車道がブラックアイスバーンになり大変危険です。北辰中区においても、児童・生徒の通学時の接触事故が毎年のように報告されています。十分に気を付けましょう。

健康のこと



とかく生活のリズムが乱れがちな長期休業。夜更かしから始まり、朝遅くの起床、それに伴う食事時間のずれ、体調不良などへと、不規則な生活から健康を害することも少なくありません。流行性の風邪などにかからないためにも、リズムを守って生活できるといいですね。

スマホや

携帯のこと



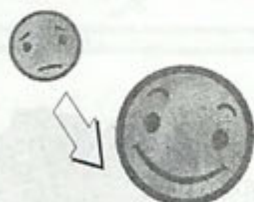
携帯電話やスマートフォンなどを利用したインターネット上の有害サイト利用や、トラブルのもととなるような書き込み、個人情報の掲載をしないようにしましょう。フィルタリングサービスの利用、家庭でのインターネットやメールに関わるルール作りなどが大切になります。また、お金を持つ機会が多くなる時期です。お金の管理についても話し合う場を作りましょう。

防犯のこと



この季節、夕方4時を過ぎると暗くなります。不審者などに遭わないよう、一人で歩くときは十分に気を付けることを確認しましょう。マンションの玄関やエレベーター、人通りの少ないところなど、自分の住む地域の危険が予測される箇所などを親子で歩いて確認するのもいいですね。各学校の冬季間の帰宅時刻の確認もおきましょう。

悩みのこと



「一人で悩まないで！」

札幌市教育委員会いじめ相談室	0120-12-7830	月～金	9時～20時
こどもアシストセンター (札幌市子どもの権利救済機関)	0120-66-3783	月～金 土曜日	10時～20時 10時～15時
興生こども家庭支援センター	011-765-1000	年中無休	24時間

今年の冬休みは…

【小学校】

12月26日(火)～1月21日(日)

【中学校】

12月26日(火)～1月14日(日)

3学期の始業式、いい顔で元気に

登校できることを願っております。

北辰中学校区青少年健全育成推進会・啓発部会

札幌市立北辰中学校 平成29年(2017年)11月号

学校だより

November

霜月

札幌市立北辰中学校

札幌市北区北18条西2丁目2-1

TEL:011-716-6151

FAX:011-716-4172

北辰中学校ホームページ <http://www.hokushin-j.sapporo-c.ed.jp>

総合的な学習・集中活動日を終えて

11月16日(木)は、総合的な学習の集中活動日でした。事前の調べ学習やマナー、敬語の使い方、質問事項の準備などを行い、全学年の生徒が校外学習に出かけました。1学年は「施設訪問」、2学年は「職場体験」、3学年は「幼稚園・保育園体験」を行ってきました。生徒たちは、普段の学校生活の中では得られない体験を通して、施設の役割や仕事の厳しさややりがいを学ぶことができました。受け入れ先の方々への感謝の気持ちを忘れず、今後の学校生活をより充実したものにしていくことが望まれます。



<1年生の訪問先>

札幌市資料館、丘珠空港、JICA、日本銀行
など19か所



<2年生の訪問先>

百合が原公園、北の研美、東京堂書店
など39か所



<3年生の訪問先>

麻生保育園
新川幼稚園
桑園幼稚園
など28か所



2年生職場体験報告会：11月30日(木)6校時・体育館

2年生による報告を1年生が参観します。保護者公開ですので是非お越しください。

開校70周年記念式典 開校70周年記念 合唱会

10月25日(水)に教育文化会館大ホールにおいて、北辰中学校開校70周年記念式典および開校70周年記念合唱会が多くの方々の参会をいただき行われました。70年を振り返る映像では、歴史の重みと時代の変遷が感じられ、在校生も北辰中学校の新たな伝統の担い手としての自覚を強めたようでした。

合唱会では学級の取組発表に続き、それぞれの学級らしい合唱が披露されました。1年生から2年生、2年生から3年生と大きな成長が感じられる発表でした。



開校70周年記念合唱会結果

	最優秀賞	優秀賞
1年生	1組 「My Own Road」	3組 「マイバラード」
2年生	4組 「ヒカリ」	2組 「虹」
3年生	1組 「花をさがす少女」	5組 「二十億光年の孤独」

12月行事予定



- 4日(月) A時間割開始
- 4日(月)～6日(水) 読書週間
- 7日(木)～13日(水) 期末懇談会
- 18日(月)～20日(水) 学期末特別清掃
- 25日(月) 2学期終業式、各種報告会
- 26日(火) 冬季休業(～1/14)

図書局の活動が 表彰されました

10月14日に行われた、平成29年度「中学校・高等学校・中等教育学校図書委員会(図書局)特色ある取組発表」において、北辰中学校図書局の日常の取組が高く評価され、表彰されました。

北区民センターニュース

第87号

〒001-0025 北区北25条西6丁目1-1
 電話 011-757-3511 FAX 011-717-1139
 ホームページ: <http://kitakuce.sakura.ne.jp/>

平成29年11月20日発行



あったかいお鍋が“恋しい”季節となりました。皆様、風邪にご注意していただきたいです！

北区民文化祭“終了”のご報告

10月21日(土)～11月3日(金)まで『北区民文化祭』を開催いたしました。各催しを、皆さまのご協力により無事終える事が出来ました。ご協力ありがとうございました。

冬のコンサート

日時:12月16日(土)
 開場:13:30
 開演:14:00(16:00終了予定)
 場所:北区民センター 3階 ホール
 *入場無料(整理券必要)
 ☆整理券☆ 先着 200枚
 (なくなり次第終了)
 11月11日(土)午前9時より
 北区民センター1階窓口で配布します！

メンバー募集中 手織りサークル「北のおりひめ」

【活動内容】卓上織機を使って身の回り品を作る
 【活動時間】 9:30～11:30(2時間)
 【活動日】 第2・4火曜日 【現在の人数】 5名
 【会費】 2,000円プラス材料費/月
 【連絡先】 宇田 邦子
 【TEL】 (090)-6697-8047
 【見学・体験】可能(体験は事前予約が必要・初心者OK)

卓上織のご案内

昔「織物」は身近な物として日本人の暮らしの中で生きてきました。たて横とよこ糸を交差させることで織物が出来上がります。現代の忙しい社会の中で、身の回りの素材を活かした「手織り」の良さが見直されております。コンパクトな卓上織機で“布”を織る、ゆったりとした自分の時間を楽しんでみませんか？もちろん資格取得コースもあります。卓上織りは年齢を問わず長く楽しめる趣味となることでしょう。☆☆



【文化祭作品展】

「衆議院議員総選挙」について

10月22日の「衆議院議員総選挙」に伴い、10月12日～10月21日の間、期日前投票が北区民センターの3階 ホールで行われました。皆様のご協力とご理解で無事に終了いたしました。

～年末年始の休館のお知らせ～
 休館日:12月29日(金)～1月3日(水)
 よろしく、お願いいたします！

【北区民センターのロビーに福祉施設の団体さんが来ます！】

日付	施設・団体名	内容
11月27日(月)～12月1日(金) 12月25日(月)、12月26日(火)	NPO法人札幌VO	福祉団体製品の販売(雑貨、食品、せんべい、フェアトレード品 他)
12月5日(火)、12月6日(水)	ていね・くら館	福祉団体製品の販売(天然酵母パン 他)
12月7日(木)～12月13日(水)	別荘所作業製品展示即売会	まな板、枕小入れ、キーハンガー、メモ帳、ブルースティック
12月14日(木)～12月15日(金)	すてっぷ	福祉団体製品の販売(まくら、ポーチ、メガネケース 他)

<1月開講 北区民講座・イベントのご案内>

講座名	回数	日程	曜日	時間	定員	参加費	場所
つくしぼ「おはなしの会」	1回	1月13日	土曜日	11:00～11:30	なし	無料	3F 児童室
そやすみ子どもお楽しみ会	1回	1月11日	木曜日	10:00～12:00	200名 (整理券配布)	無料	3F ホール
みんなの茶の間 オープンカレッジ	1回	1月17日	水曜日	13:30～15:30	20名 (先着順)	無料	3F 実習室
内容							
① 不動産売却の税 ② 一見お得、実は損！なお金の使い方							

<受付方法> 直接北区民センター1F窓口または電話757-3511、FAX717-1139までお願い致します

図書室だより

電話: 757-5399

H29.11.20発行

ボランティアによる「おはなしの会」 毎月第1土曜日開催中!

皆さんの参加お待ちしております。(参加自由)



11月4日(土)に行われた、「おはなしの会 * 特別版 *」

50名近い方の参加、大盛況のうちに幕を閉じました...

「おはなしの会」の特別版はつくしんぼさんの大型絵本読み聞かせに始まり、学生による親子で遊べる手遊び「カレーライス」、パネルシアター「猫のお医者さん」が大活躍。組み木を使った物語「ブレーメンのおんがくたい」最後はつくしんぼさんの大型紙芝居の読み聞かせ、「いもころがし」。子どもたちは、食い入るように絵をみて、おはなしにひきこまれたようでした。

12月の「おはなしの会」もお楽しみに...



新刊情報

一般

『忘れる力「すっきり」「はっきり」「ゆったり」』
平井 正修・著 188/ヒ

『産婆フジヤン
明日を生きる力をくれる、93歳助産師一代記』
坂元 フジエ・著 289/サ

『スーパーはちみつマヌカハニー使いこなしBOOK』
佐々木 薫・著 498/ス

『似合わない服』
山口 ミルコ・著 914/ヤ

児童

『おやさいめしあがれ 視覚デザインのえほん』
視覚デザイン研究所 作 J/オ

『「いる」じゃん』
くどう なおこ 作 J/イ

『森のおくから
むかし、カナダであったほんとうのはなし』
レベッカ・ボンド 著 J/モ

特集「メリークリスマス」

初雪のたよりから「クリスマス」までの楽しい季節はプレゼントの準備、パーティーの料理アイデアやクリスマスの物語にもふれてみたい。

オススメの児童本

「本で世界を旅しよう! イギリス」

イギリスの物語には自然・かわいい動物も出てくるので、楽しみいっぱい! すてきなイギリスの物語にふれてみましょう。お気に入りが見つかるかも...



12月の予定

毎月第4金曜日は、休室日です。12月29日~1月3日は年末年始のため休室日です

12月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	1	2	3	4	5	6

2日(土)

小学生の司書体験

9:00~11:00【3階 図書室】

おはなしの会(つくしんぼ)

11:00~11:30【3階 児童室】

10日(日)

学生のための司書体験講座

14:00~17:00【3階 図書室】



第三回
藤女子中学校・高等学校
オーケストラ部

定期演奏会

Fuji Girls' Junior and Senior High School

Orchestra Club Concert

プログラム

チャイコフスキー/バレエ組曲「くるみ割り人形」
ガーシュウィン/ラプソディー・イン・ブルー ほか

入場無料

2018.2.3 sat

開場 13:00 開演 13:30

会場 藤学園講堂

札幌市北区北16条西1丁目

南北線「北18条」駅下車 徒歩5分 /

東豊線「北13条東」駅下車 徒歩9分

未来を拓く65分授業

<お問い合わせ> 藤女子中学校・高等学校

TEL 011-707-5001 (事務室)

※駐車場はございません。

公共交通機関をご利用下さい。

後援：札幌市



詳細はHPまで

